

物語を読んで、感想文を書こう。
めあて

学習の見通しをもとう。

●初発の感想を書こう

●感想文を書くときに、むずかしかったこと

- ・何から書いていいのか分からない。
- ・文章をたくさん書くことができない。

●学習の流れ

時	月日	学習内容
①	／	学習の見通しをもつ。
②	／	物語の内ようを読み取る。
③	／	三つのお願いをくらべながら、内ようを読み取る。
④	／	会話や行動から登場人物のせいにかくを読み取る。
⑤	／	表げんのくふうに目を向けて読む。
⑥	／	書き方のくふうを見つける。
⑦	／	組み立てを考え、自分の考えをはっきりさせて「初め」「中」を書く。
⑧	／	組み立てを考え「終わり」を書き、表げんをくふうしてしあげる。
⑨	／	友達と感想文を読み合い、よいところを見つける。

●感想文を書くための三つのコツ

コツ一 物語の(内よう)を読み取る。

コツ二 「初め」「中」「終わり」の(組み立て)で書く。

コツ三 思ったことや感じたことを表す(言葉)を使う。

【1 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「三つのお願い」①・原稿用紙1
本時のねらい

学習の見通しをもたせるとともに、感想文を書くという活動に意欲をもたせる。

1 教材文を読んで、初発の感想を書く。

- 教師の範読を、教科書を目で追わせながら聞かせる。
- ※ 「国語指導CD」を活用してもよいです。
- 初発の感想を書かせる。(原稿用紙1)
- 題名も付けさせる。
- ※ 原稿用紙を配り、書く時間(二十分間)を伝えて書かせます。
- ※ あまり書けない児童やあらずじばかり書く児童などいると思いますが、書く時間内で終わります。

2 これまでに読書感想文を書いた経験を交流する。

- これまでの学習経験を振り返り、読書感想文を書くときに難しかったことを発表させる。

3 学習の流れを確認する。

- 「物語を読んで、感想文を書こう」という単元の学習課題を知らせる。
- ワークシート①を配り、記名させる。
- 本時のめあてを知らせる。
- 学習計画表(ワークシート①を拡大したもの)を提示する。
- ※ 学習の最後には、初発の感想を感想文と比べて技能の向上を確かめることを知らせ、期待感をもたせるようにします。

4 感想文を書くための三つのコツを知る。

- 三つのコツ(ワークシート①を拡大したもの)を提示し、()に入る言葉を学級全体で考えながら記入させ、感想文を書く見通しをもたせる。
- ※ 三つのコツ(ワークシート①を拡大したもの)は、本時のめあてを確かめるために、これから毎時間提示します。

評価 物語に興味をもち、学習に取り組もうとしている。(関)

5 本時の学習の振り返りをして、次時の学習について見通しをもつ。

- ワークシート①で自己評価をさせる。
- 次時は、感想文を書くための[コツ]を学習していくことを知らせ、ワークシート①で確かめさせる。